

## 第6学年 学習指導案

教育学部 学校教育課程 国語専修  
B4E11044 水戸 明香里

### 1 単元名 「未来を拓け！様々な視点で考え、意思決定！」

#### 2 単元について

##### (1) 教材観

本単元は小学校学習指導要領社会編の第6学年の能力目標から、「社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味をより広い視点から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。」を実現するために、第6学年の学習指導内容ア 我が国の歴史上の主な事象から構成したものである。本単元では我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てながら、「公民的資質の基礎」を養うため、意志決定力の育成を目指している。

教材として荻野吟子を取り上げる。荻野は女性差別など様々な壁を乗り越え、日本初の女医となった人物である。荻野吟子の生涯を追いながら、当時は女性の免許獲得の認められていなかった女医1号を目指した背景にさまざまな困難や苦悩があったことをおさえる。また、荻野吟子の周りの人々の考えが当時の社会のしくみや政治の制度に影響されていることに気づき、自分自身の生活も社会や政治に影響されていないかを見つめなおし、これからどのように生活していくかを意思決定していくことで本単元の目標を達成していく。

##### (2) 指導観

「我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする。」とは、今日の国民生活は国家・社会の発展に協力した先人によって作られた歴史や伝統の上に成り立っているものであり、このような歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情や、将来に向けて平和で民主的な国家・社会の進展に一層努力していこうとする態度を育てるようにすることである。また、社会科が育成しようとしている公民的資質とは、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として自らの意思でよりよい社会を築き上げようとする主体性である。現行の歴史学習は通史によるものが大半を占め、社会認識形成に留まっているものが多い。しかし歴史も社会として行われるのなら、歴史事象について主体的に考えさせ、現在の生活と結び付けて様々な考え方をさせ、公民的資質を養えるような授業にしなければならない。

「歴史を通して、社会についてわかり考え、民主主義社会の形成者として市民に求められる資質・能力を育成する学習」を成立させるために中核を成すのが、意思決定力である。意思決定力とは、民主主義社会の主権者として、社会の変化や課題に対して、合理的な判

断を行い、将来、他者と共に生きていくために適切な社会的行為を選択していく能力である。

### 3 単元の目標

- ・歴史上の人物について、調査したり、適切に資料を活用して調べ、社会の仕組みが私たちの生活や考え方に大きく影響していることや様々な視点にたって考えることの大切さを理解する。
- ・民主主義社会の主権者として、社会の変化や課題に対して、合理的な判断を行い、将来、他者と共に生きていくために適切な社会的行為を選択していく意思決定力を養う。

### 4 評価基準

ア 社会事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 観察・資料活用の技能	エ 社会事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・荻野吟子の生涯や当時の社会の仕組みについて積極的に調べようとしている。</li> <li>・自分の意見の根拠となる資料を積極的に探そうとしている。</li> <li>・得た知識をもとに自分の意見を進んで発表しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な視点から物事を見たり、考えたりしようとしている。</li> <li>・自分たちの生活が社会のしくみ・制度に大きく影響されていることに気づき、それを踏まえ意思決定しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荻野吟子の生涯や当時の社会の仕組みについて資料を適切に使い、調査している。</li> <li>・調べ学習で見つけた資料を根拠に意思決定をし、理由を説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治時代の女性差別について理解する。</li> <li>・現代にも女性問題が残っていることがわかる。</li> <li>・当時の社会制度を理解している。</li> </ul>

### 5 授業展開

#### □第1次

授業の目標は、荻野吟子が女性医師を目指した際の問題場面を現在の仮想場面に置き換え、どのような対策や考え方ができるのか、意思決定技能や発表の仕方を学ぶことである。また、自分たちの身の回りに少なからず「男らしさ・女らしさ」を当然視する考え方があるということを子どもたちに気付かせる。

導入段階では、子どもたちに1枚の絵を提示する。絵の内容は、子供たちにとって身近な家族の生活場面であるが、子どもたちの既成観念に反するようなものである。

父が料理をしている、母が仕事をしている、祖父が裁縫をしている、祖母が駅員の仕事をしているという生活場面である。子どもたちにこの絵をみて気付いたことや思ったことを発表させ、日常生活の中に自分たちが少なからず、「男らしさ・女らしさ」の意識があることに気付かせる。

展開では荻野吟子が女性医師を目指した際の問題場面を現在の仮想場面に置き換える。その中で、子どもたちにA子（荻野吟子）の立場ならどのように考えるのか、A子の家族の立場ならどのように考えるのか、政府の立場ならどのように考えるのかをそれぞれ違った視点から考えさせる。また、この時に社会のしくみ・制度をpushしえうえで考えられるように配慮する。具体的な思いや率直な考えがでてくると予想される。子どもたちが考えた意見は班の中で役割を分担し意見を交換させる。意見交換の際には、発表のポイントとして①発想（相手に何を話すか考える）、②配列（相手によくわかるような順序で話す）、③修辞（効果的な表現を考える）、④記憶（それを記憶する）、⑤所作（身振り手振りを加えて話す）を提示し、自分の意思決定をよりよく発表できるようにする。その後、友達の意見も含めたうえで、三つの立場のうち、どの立場に一番賛成できるかを意思決定する。

## □第2次

第2次の目標は、医師試験の受験を反対された荻野吟子の立場にたって、政府や家族に交渉できること、どのように行動したのか考えることである。また、それぞれの人物の言い分の裏には、強い思いがあることや社会の仕組み・制度が大きく影響していることを理解することをめざす。

導入段階では、前次の内容を振り返り、仮想場面が実際に起こったことであることを子どもたちにとらえさせる。荻野吟子が医師免許試験に挑戦しようとしたが、政府は試験を受けることすら許可しなかったことや家族が医者になることを強く反対する場面を提示する。

展開では、教師が政府・荻野吟子の家族の意見を明確にし、子どもたちには荻野吟子の意見を明確にする役割を与える。子どもたちは、荻野吟子として政府や家族に対し、どのように交渉するのか、その後どのような行動をとったのかを班で話し合い、意見をまとめる。教師は政府や家族の立場に立ち、意見を明確にする。その後、班の代表者と教師による話し合いを行いほかの児童はそれを見る。この際にそれぞれの人物の考えの裏には、強い思いがあることや社会の仕組み・制度が大きく影響していることに気付かせるように配慮する。このようにして、荻野吟子の願いや思いを体験させる。

まとめでは、代表者と教師の話し合いを見て、どのように考えるのか・感じたのか、自分の意見をまとめる。次回の学習では、荻野吟子自身がどのように考えたのか・感じたのか、行動したのかについて荻野吟子の障害を学習しながら捉えていくことを伝

える。また、次回の学習までに荻野吟子がどのような人物であったのかを児童が各自調べてくるように課題を出す。

#### □第3・4次

第3・4次の目標は、荻野吟子の生涯及び女性の歴史について理解することである。また、歴史上での荻野吟子や荻野吟子の家族、政府のそれぞれの立場や意見の違いを捉える。その上で「問題」を真に自分のこととして捉えることの難しさに気付かせる。

導入段階では、前次の学習内容を振り返り、本時の学習内容について説明する。荻野吟子の肖像画を提示し、埼玉県の人であることを子どもたちに押さえさせることで、興味・関心を持って子の学習に取り組めるように配慮する。

展開では、まず荻野吟子の年表を活用し、どのような生涯を送ったのかについて調べる活動を行う。荻野吟子という人物について詳細に学習することで、当時の社会の在り方・しくみや人々の考え方を探っていく。調べ学習を行っていくうえで図書室やインターネット及び各自が調べてきたことを基にして、班で話し合い、ワークシートにわかったことをまとめていく。また、荻野吟子が医師試験を受ける問題場面が、全単元でのキーポイントになっている。そこで江戸時代から明治時代にかけての医制についても学習する段階を設ける。

荻野吟子の生涯、医療制度について学習した後、女性の歴史についても年表や資料を活用して捉えさせる。特に荻野が生きた当時の社会での女性の立ち位置やしくみ・制度がどのように構成されていたのかを考察できるようにする。この際に現代の女性の立ち位置と当時の女性の立ち位置が大きくことなっていることに気付かせる。

以上の学習内容を踏まえ、荻野吟子や荻野吟子の家族、政府のそれぞれの立場や意見の違いを捉える。またその背景には強い思いや社会の在り方・しくみが大きくかわっていることも押さえさせたい。その際、人間がある一つの意味決定を行う際には、①目的、②他者からの働きかけ、③情緒・情動、④過去の先例、⑤その他（無意識的に近い行動基準をふくむ）の5つの要因が関わっていることに着目させ、児童が社会の一員として合理的な意思決定が行えるよう、判断材料を持たせる。

まとめでは、実際に存在した歴史の問題場面を学習したうえで、改めて自分自身の考え方や思いを明確にさせて意思決定を行っていく。このときどのようにして自分自身の意思決定に至ったのか説明できるようにする。

#### □第5・6次

第5次の目標は、現代にも残る男女の差や区別を荻野吟子の生きた明治時代と比較しながら考えることである。レディースデーや女性割引などの例を取り上げ、現代にも男女を区別するシステムや制度があることに気付かせる。そしてこのような現代の差が明治時代と比べて共通点や違う点を考えながら比較していく。

導入段階では、実際にあるレディースデイや女性割引の広告などをパワーポイントで提示しそれに対する意見や率直な感想を聞く。そして現代にも男女を区別するシステムや制度があることに気付かせる。

展開ではまずレディースデイや女性割引がある理由を子どもたちに予想させる。そして資料とパワーポイントを使いそれらには企業の戦略や合理的な理由があることを学習する。それらを踏まえたうえで、レディースデイや女性割引のような制度に賛成か反対かを考える。最初はワークシートに賛成・反対それぞれの理由を個人で書き出し、自分はどちらの立場か意思決定する。その後、グループでディベートを行い、グループでの立場を決定する。その理由をクラス全体で発表し共有する。

まとめでは、現代にも男女の区別があることを改めて確認する。その上でレディースデイや女性割引は差別になるのかを考えさせる。そして、荻野吟子が生きた明治時代と比べ、男女の区別が先入観や価値観でされているものではなく、現代は理由や合理的な意味があってレディースデイや女性割引のような制度があることを理解させる。しかし、理由があるとしても不快に感じる人や男女差をつけるのはよくないと考える人がいることも理解させる。最後にこれまでの学習を踏まえた上で現代にも残る男女の差や区別について自分たちはこれからどう考えて関わっていくかを考えさせる。

## 6 単元の指導計画（6時間扱い）

時	段階	主な問い	学習内容と活動	資料・留意点
1	導入    仮想場面 での 意思 決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>この一枚のイラストから、何か思ったこと・考えたことを発表しましょう。</li> <li>仮想場面にはどのような社会のしくみや制度があるだろうか。</li> <li>A子A子の家族、政府それぞれの立場にたって、それぞれの考えをまとめましょう。</li> <li>発表のポイントに気を付けて、班で話し合しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの身の回りに少なからず、「男らしさ・女らしさ」という考えがあることに気付く。</li> <li>社会のしくみや制度を考えながら、仮想場面に登場するそれぞれの人物の考え方を探る。</li> <li>自分とのどのような点で意見が違うのか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラスト</li> <li>仮想場面</li> <li>ワークシート</li> <li>発表のポイン</li> </ul>

	次時 予告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換を終えて、あなたは三つの立場のうち、どの立場に賛成ですか。理由も書きましょう。</li> <li>・次の時間は日本の女医第一号の荻野吟子さんをみなさんに紹介します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のかえも含め、どのかえに一番賛成できるかまとめる。</li> </ul>	トとして①發送②配列③修辭④記憶⑤所作があることを指導する。
2	導入  考えを深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前の時間は仮想場面でみなさんならどうするか、と自分のかえを決めてもらいましたね。実はあんな目に実際にあった荻野吟子さんという人がいます。日本の女医第一号で、明治時代に生きた人です。</li> <li>・これから、各班一人ずつでてもらって荻野吟子さんとして先生と交渉してもらいます。1～3班は家族と、4～6班は政府とどのように交渉するかを考えてください</li> <li>・では1班の人から先生と話しましょう。時間は五分です。他の人たちはなぜ先生がこのように言うのか考えてください。このとき、性格が悪いから、政府の人は大変だから、という考え方ではだめですよ。</li> <li>・では、先生がこういった理由があると発表してください。</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮想場面が、歴史上本当にあったことだと知り、興味を持たせる。</li> <li>・荻野吟子が医師免許試験に挑戦しようとしたが、政府は試験を受けることすら許可しなかったことや家族が医者になることを強く反対する場面を提示する。</li> <li>・班の中で交渉について話し合う。</li> <li>・班の代表者と教師で話し合いを行う。そのやりとりをみて気づいたこと考えたことをまとめる。</li> <li>・これについて話し合い、当時は女性が社会に進出すべきでないという考え方が一般的だったこと、多くの職業も女性のための教育機関や働く場所がなかつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シナリオもつくるが、子どもの反応に臨機応変に対応。</li> <li>・ただ、政府や家族が悪いとするのではなく、その裏にある思いを考えさせる。</li> </ul>

	次時 予告	次の時間は、萩野吟子さんが生きた明治時代について学習します。だから、みなさん萩野吟子さんについて調べてきてください。	たことに気づく。	
3 ・ 4	導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は萩野さんがどのような人だったのか、どのような生涯を送ったのか、彼女が生きた時代はどんなものだったのかについて学習します。萩野さんはこんな顔です。どんな印象ですか？</li> <li>・みなさん、宿題で萩野吟子さんについて調べてきたと思います。年表を用意したので調べてきたことを書いてみてください。</li> </ul>	<p>萩野吟子の生涯を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年表を活用し萩野吟子の生涯を知る。</li> <li>・当時は女性の地位が低く、社会の仕組みが大きく人々の考え方に影響していたことに気づく。</li> </ul>	萩の吟子の肖像
	調べ 学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに萩野吟子が医者を目指した時期を中心にインターネット、図書室の本を中心に調べてみましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を班で発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年表</li> <li>・インターネット、資料</li> </ul>
	話し合 う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは当時の医制はどのようなものだったのか、資料をもとに確認してみましょう。そして当時の社会のしくみや制度、女性はどのような立場だったのか自分の考えをまとめましょう。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医制に関する資料</li> </ul>
	確かめ る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・萩野吟子の家族はなぜ医者になることを反対したのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班で話し合う。人間が意思決定を行う際には</li> </ul>	

	次時 予告	・次の時間は私たちの生きている現代は女性と男性は平等と言えるのか考えてみましょう。	・①目的、②他者からの働きかけ、③情緒・情動、④過去の先例、⑤その他の要因が関わっていることに気づく。	
5 ・ 6	導入	<p>・今までは荻野吟子さんという人について学習しましたね。どんな人だったか覚えていますか。</p> <p>・荻野吟子さんの女性差別は明治時代の話でしたね。では現代では男女平等と言えるでしょうか。</p> <p>・レディースデイや女性割引のスライドを見て感想を言う。</p> <p>・なぜこのような制度があるのか予想しましょう。</p> <p>・レディースデイや女性割引ができた理由について学習しましょう。</p> <p>・ワークシートを使い、レディースデイなどに賛成か反対か、両方の理由を考えたいうえで自分の立場を決めましょう。</p> <p>・班の中で意見を出し合ってください。</p> <p>・代表の人は発表してください</p>	<p>・今までの確認・復習。</p> <p>・現代でも男女を分けた制度があることに気が付く。</p> <p>・①娯楽にお金を使う ②話題や価格に敏感 ③SNS などロコミで広がる。 の三点を理解させる。</p> <p>・レディースデイに賛成か反対か意思決定。</p> <p>・班の中で意見を出し合い、考えを深める。</p>	<p>・パワーポイント</p> <p>・資料・パワーポイント</p> <p>ワークシート</p>



	<p>考えを深める</p> <p>まとめ</p>	<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代にも男女の差や区別をつけた制度やシステムがあることがわかりましたね。</li> <li>・ではレディースデイなどのようなシステムは差別と言えるでしょうか？荻野吟子さんの生きた明治時代の女性差別と比べながら考えましょう。</li> <li>・現代に残る男女差は理由があるということがわかりましたか？</li> <li>・しかし、理由があるとは言ってもそれを不快に感じたり、差別ととらえる人もいます。</li> <li>・男女の差という問題は明治時代だけでなく現代にも残る大きな問題です。</li> <li>・これまでの授業を振り返って自分たちがこれから社会で生きていくうえで男女の問題にどのように関わっていくべきか考えていきましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスで意見の共有。</li> <li>・明治時代→先入観や価値観による理由のない差別</li> <li>現代→企業戦略など理由があるうえで男女の区別をつけている。</li> <li>という違いについてワークシートを使い明確にする。</li> <li>・男女の問題が身近なものだと気付かせる。</li> <li>・具体的に自分がどのように行動すべきか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul>
--	--------------------------	---	--	---

## 7 本時の学習（5/6）

### （1）目標

- ・レディースデイや女性割引のような制度と荻野吟子の場合を結び付けて考え、賛成と反対両方の立場に立って考え、意思決定できる。
- ・男女の差や区別が現代にも残る身近なものとなえ、自分はどのように考え、行動すべきか考えることができる

### （2）展開

段階	主な問い	学習内容	資料
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までは荻野吟子さんという人について学習しましたね。どんな人だったか覚えていますか。</li> <li>・荻野吟子さんの女性差別は明治時代の話でしたね。では現代では男女平等と言えるでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荻野吟子の差別が明治時代の出来事だということを確認する。</li> </ul>	
めあて：現代の男女の差を考えよう			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずはスライドを見てください。これらを見て気づいたことや思ったことを教えてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見せる資料は               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 映画 レディースデイ</li> <li>② スパ 女性割引</li> <li>③ 居酒屋 女子会コース</li> </ol>               これらのシステムの説明もする。             </li> <li>・女性が優遇されている制度があることを知る。</li> <li>・現代にも男女の差や区別があることに気付く。</li> </ul>	パワーポイント
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代にも男女に差をつける制度があるのはよくないよね。ではな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初にレディースデイや女性割引の理由を予想す</li> </ul>	

<p>ぜ、このような制度があるのかな？予想しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実はこのようなレディースデイや女性割引ができたのは理由があります。資料を配るので目を通してください。</li> <li>・レディースデイや女性割引が生まれた理由を説明します。</li> </ul>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レディースデイなどが生まれた理由の資料。教師がわかりやすく要約したものの。</li> <li>・映画を例に出し説明。主に女性のほうが <ul style="list-style-type: none"> <li>① 娯楽にお金をかける</li> <li>② 話題や価格に敏感</li> <li>③ SNS など口コミで広がる</li> </ul> </li> </ul> <p>という3つの理由で売り上げにつながるということを理解させる。</p>	<p>資料</p> <p>パワーポイント</p>
<p>問：レディースデイや女性割引に賛成か。反対か</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・では、今までのことを踏まえてこの問いについて考えましょう。</li> <li>・ワークシートを配るので賛成・反対の両方の理由を考えようで自分の立場を決めてください。</li> <li>・それでは班になって賛成の意見と反対の意見を出し合い、班の立場を決めてください。</li> <li>・代表の人は黒板に意見を書きに来てください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートで両方の立場の理由を考え、セルフディベートしたうえで意思決定をする。</li> <li>・両方の視点から見たうえで、根拠を持って自分の立場を決める。</li> <li>・班の中でディベートを行い改めて考える。</li> <li>・それぞれの班がどのような理由でどちらの立場に決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul>

		めたのか共有する。 ・対立する意見などをみる。	
まとめ・次時予告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代にも男女の差や区別をつけた制度やシステムがあることがわかりましたね。</li> <li>・荻野吟子さんの生きた明治時代の差別と比べてどうですか？</li> <li>・今回は明治時代の男女差別と現代のレディースデイのような男女の分け方の違いについて考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治時代の差別とは違い、企業戦略や合理的な理由があり、このような差が生じることに気付かせる。</li> </ul>	

### (3) 板書計画

☆めあて 現代の男女差を考えよう	◎レディースデイに賛成か反対か	
レディースデイなどはなぜあるか 予想	賛成	反対
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
☆まとめ 現代にも男女差が存在する		